

【号外】九大学研都市メールマガジン 2017/05/24

opack\_mailmagazine\_extra

\* \* \* \*

【号外】九大学研都市メールマガジン 2017/05/24発行

\* \* \* \*

opack\_mailmagazine\_extra

みなさん、こんにちは！

九大学研都市メールマガジン事務局です。

メルマガ会員の皆様にお知らせしたい情報がございますので、

6月号に先駆け、号外を配信いたします。

\* \* \* \*

○\*\*INDEX\*\*○

\* \* \* \*

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

【1】1911年（明治44年）九州帝国大学工科大学創立から現在の工学部まで

「工学部の百年」展開催のご案内！

九州大学工学部等総務課庶務係

〔平成29年3月28日（火）9：00～平成29年5月31日（水）17：00〕

【2】第111回分析基礎セミナー

「原理から学ぶ機器分析【3】X線分析2・X線回折」

開催のご案内！

九州大学中央分析センター

〔平成29年5月25日（木）13：00～17：00〕

【3】I S I T 技術セミナー

「トリリオン（1兆個）センサーの世界観とIoTクラウドへの展開」

開催のご案内！

公益財団法人九州先端科学技術研究所

〔平成29年5月26日（金）10：00～12：00〕

【4】九州大学（QBS）MBA×日経ビジネススクール Presents

「成長志向のMBA@福岡2017」開催のご案内！

九州大学ビジネス・スクール（QBS）

〔平成29年5月31日（水）～平成29年7月18日（水）全7回〕

【5】第30回人文機構シンポジウム

「海の向こうの日本文化 その価値と活用を考える-」

開催のご案内！【New!!】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

〔平成29年6月3日（土）13：30～16：30〕

【6】日本学術会議・九州大学 公開シンポジウム

「農的エネルギーの新展開」開催のご案内！

日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会

九州大学エネルギー研究教育機構

〔平成29年6月5日（月）13：30～17：30〕

【7】第112回分析基礎セミナー

「原理から学ぶ機器分析【4】分光分析」開催のご案内！【New!!】

九州大学中央分析センター

〔平成29年6月8日（木）13：00～17：00〕

【8】公開講座

「高校生のための工業設計学科のデザイン講座（基礎編）」

開催のご案内！

九州大学芸術工学部  
〔平成29年6月11日(土)13:00～17:00〕

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【9】平成28年熊本地震で被災され、研究に支障をきたしている  
学外の研究者の皆様へ  
九州大学工学研究院

【10】「糸島リサーチパーク 分譲」のご案内！  
福岡県企業局

【11】糸島市子育て世代応援サイト“いとネット”について  
糸島市役所企画部地域振興課

\* \* \* \*

○\*\*\*\*本文\*\*\*\*○

\* \* \* \*

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

-----  
【1】1911年(明治44年)九州帝国大学工科大学創立から現在の工学部まで  
「工学部の百年」展開催のご案内！  
九州大学工学部等総務課庶務係  
-----

概要：

九州大学工学部は、1911年(明治44年)に九州帝国大学工科大学として  
創立し、2011年に九州大学とともに創立百年を迎えました。  
工学部としては日本で4番目に長い歴史を持つ学部です。

今回の展示会では、「工学部百周年記念展示室」で公開している学術史上価値の  
高い史料や機器のほか、普段は目に触れることができない工学部が所蔵する貴重な  
品々を一般の方々にも公開します。

また、現在の工学部及び大学院工学研究院・工学府で行われている最新の  
教育プログラムや研究成果の紹介も行います。

近代日本の発展を支えた九州大学「工学部の百年」の歴史に触れ、そして  
工学部の「今」を感じていただける展示会ですので、ぜひこの機会に九州大学へ  
足をお運びください。

日時：

平成29年3月28日(火)9:00～平成29年5月31日(水)17:00

場所：九州大学伊都キャンパス 椎木講堂1階 展示コーナー&ギャラリー  
(福岡市西区元岡744)  
<http://shiiki-hall.kyushu-u.ac.jp/access/>

対象者：一般向け、高校生向け、小・中学生向け、在学生・教職員向け

定員：なし

参加費：無料です。

イベント詳細：開館時間 平日 9:00～17:00

お問合せ先：

九州大学工学部等総務課庶務係  
TEL：092-802-2708

F A X : 0 9 2 - 8 0 2 - 2 7 1 2

E - M a i l : kossyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

・工学部の百年チラシ : [https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail\\_19679\\_file.pdf](https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail_19679_file.pdf)

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

【 2 】 第 1 1 1 回分析基礎セミナー

「原理から学ぶ機器分析【 3 】 X線分析 2 ・ X線回折」

開催のご案内！

九州大学中央分析センター

概要：

九州大学中央分析センターでは、平成 1 9 年より毎年定期的（年 8 回程度）に分析基礎セミナーを開催しています。

これは機器分析の原理・基礎知識を習得してより効果的に分析機器を使用していただくことを目的とするものです。

今年度のセミナーは、基本に立ち返り、原理をよく理解してより良いデータを取得し、正しい解釈ができることを目指します。今回は、材料評価に有用な X線回折について基礎から実用まで幅広く知識が得られる内容です。

日時：平成 2 9 年 5 月 2 5 日（木） 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

場所：九州大学伊都キャンパス・工学部第 3 講義室（西講義棟 3 F）  
（福岡市西区元岡 7 4 4）

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

九大伊都キャンパスマップ中、3 0 番の建物になります。

内容：

< 13:00-14:30 > 「基礎から学ぶ X線回折」

X線とは？から始まり、ミラー指数や結晶構造、汎用的な X線回折装置、粉末 X線回折測定の実験・ノウハウなど、基礎から分かりやすく解説します。

< 14:40-15:50 > 「薄膜・残留応力 X線分析、小角散乱測定の基礎」

薄膜材料の高感度測定、反射率測定、残留応力測定、小角散乱測定について、基礎と解析例をご紹介します。

< 16:00-17:00 > 「ここまでできる X線回折 ~ 最新の応用例まで ~」

in-situ測定、微小部測定、結晶子サイズ・粒径解析、リートベルト法を用いた評価など、X線回折を利用した各評価の基本的な内容から最新の応用例までをご紹介します。

対象者：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料です。

申込方法・申込期限：

当日までにメールまたはファックスで

ご氏名・ご所属を明記の上お申込みください。

お問合せ先：

九州大学 中央分析センター伊都分室・渡辺

TEL : 092-802-2857 FAX : 092-802-2858

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

-----  
【3】I S I T 技術セミナー  
「トリリオン（1兆個）センサーの世界観とIoTクラウドへの展開」  
開催のご案内！  
公益財団法人九州先端科学技術研究所

-----  
概要：

産業技術総合研究所九州センタートリリオンセンサ研究グループ  
グループ長寺崎正氏を講師として迎え、  
・ Trillion Sensors Universeの思想と社会波及の意味  
・ AISTの取り組み状況  
・ 世界の動向：T-Sens. Roadmap & Summit総括  
・ 九州はT-Sens.の課題解決実証地域  
についてご講演いただきます。

-----  
日時：  
平成29年5月26日（金）10：00～12：00（受付開始9：30～）

場所：  
福岡SRPビル2階・研修室1（福岡市早良区百道浜2丁目1番22号）  
<http://www.fukuoka-srp.co.jp/access/index.html>

内容：  
< 10:00～10:10 > 開会挨拶  
< 10:10～11:10 > トリリオンセンサー講演  
< 11:10～11:30 > 質疑応答  
< 11:30～11:45 > 池澤 I S I T 研究顧問からの話題提供  
< 11:45～11:50 > 閉会挨拶

参加費：無料です。

定員：50名

申込方法：以下よりWEBにてお申込み下さい。  
<http://www.isit.or.jp/event/2017/04/24/2731/>

問合せ先：  
公益財団法人九州先端科学技術研究所  
総務広報部 龍  
TEL：092 - 852 - 3450  
e-mail：koryu@isit.or.jp

・ ISIT技術セミナー20170526：[https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail\\_19681\\_file.pdf](https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail_19681_file.pdf)

-----  
九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

【4】九州大学(QBS)MBA×日経ビジネススクール Presents  
「成長志向のMBA@福岡2017」開催のご案内！  
九州大学ビジネス・スクール(QBS)

---

概要：

九州大学ビジネス・スクール(九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻・QBS)は日経ビジネススクールと共同で、「成長志向のMBA@福岡2017」を開講します。

アジアの玄関口であり、成長著しい福岡。この地でビジネスを発展させる効果的なスキルや専門知識の習得について、九州大学ビジネス・スクール気鋭の教員陣が、MBA教育の手法を用いながら講義を進めます。

当講座は、急進するグローバル経済への対応と地域経済の牽引を担う、卓越した見識と実行力の習得を目的とします。「企業戦略」「グローバル経営」「ソーシャルビジネス」「マーケティング」「コーポレートガバナンス」「ビジネスモデル」「イノベーションマネジメント」の各領域について、最新の理論やフレームワーク、招聘ゲストによる実務的展開を学ぶことができます。

また、九州における第一線の人材と地域を代表する専門職大学院QBSとの効果的な橋渡しのため、キックオフ懇親会、修了懇親会を実施します(ともに全7科目一括でお申し込みの方の特典)。

ビジネススクールにおける教育に関心のある方はもちろん、意欲的な仲間とのネットワークをお求めの方、新規事業立ち上げをお考えの方など、多くの方々のご参加をお待ちしています。

---

日時：

平成29年5月31日(水) 19:00～21:00  
平成29年6月7日(水) 19:00～21:00  
平成29年6月14日(水) 19:00～21:00  
平成29年6月28日(水) 19:00～21:00  
平成29年7月5日(水) 19:00～21:00  
平成29年7月12日(水) 19:00～21:00  
平成29年7月18日(水) 19:00～21:00

場所：

JR博多シティ9F 会議室2  
(福岡市博多区博多駅中央街1番1号)  
<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/#Access>

内容：

- ・5月31日(水)  
第1講「差別化戦略を掘り下げる」目代 武史 准教授
- ・6月7日(水)  
第2講「開発途上国市場への参入～新たな手法の開発～」星野 裕志 教授
- ・6月14日(水)  
第3講「ユヌス・ソーシャルビジネスと緑豆プロジェクト」  
講演：株式会社ユーグレナ・佐竹 右行 氏  
ファシリテーター：星野 裕志 教授
- ・6月28日(水)  
第4講「製品を成長に導くマーケティング戦略」岩下 仁 講師
- ・7月5日(水)

第5講「コーポレート・ガバナンス - 東芝・三菱自動車の不祥事を中心として：経営理念等の観点から - 」岩崎 勇 教授

・ 7月12日(水)

第6講「新たな事業創造をビジネスモデルから読み解く～農商工連携による6次産業化を事例として～」高田 仁 教授

・ 7月18日(火)

第7講「イノベーションと地域経済の成長」永田 晃也 教授

対象者：一般の方

定員：80名

参加費：

・ 7科目一括申し込み 45,360円(税込み)

キックオフ懇親会、修了懇親会(兼修了式)参加費含む

・ そのほか各講(1科目ごと)申し込み 6,480円(税込み)

申込期限：

7科目一括申し込み、第1講申し込み平成29年5月24日(水)

以降、単科申し込み各回の2週間前(詳細は申込フォームでご確認ください)

一括申し込みを含めすべての科目は先着順に受け付けます。

定員に達した科目から締め切り日に関わらず受け付け終了となります。

申込方法：下記URLの申請フォームよりお申し込みください。

<http://school.nikkei.co.jp/special/mba2017q1/index.html>

お問合せ先：

成長志向のMBA@福岡事務局

〒101-0047

東京都千代田区内神田1-6-10 笠原ビル7階(株)日経ピーアール内

TEL:03-6812-8659

FAX:03-6812-8649

(平日9:30~17:30)

E-mail: qbs@nikkeipr.co.jp

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

【5】第30回人文機構シンポジウム

「海の向こうの日本文化 その価値と活用を考える-」

開催のご案内!【New!!】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

概要：

シーボルトが日本で収集し、ヨーロッパに持ち帰った膨大な美術工芸品など、海外の研究機関等には多くの日本の歴史的資料が収蔵されています。人間文化研究機構では、これらの日本関連在外資料の調査研究をすすめています。

今回のシンポジウムでは、九州各地に関係する最新の研究成果を紹介します。そして、新たな観光資源の発見につなげるための研究成果の発信、共有のあり方について、また地域振興に資する研究成果の活用の方法について、日本関連在外資料を例に研究者と観光業界、行政関係者がともに考えます。

日時：平成29年6月3日（土）13:30～16:30（開場13:00）

場所：九州大学西新プラザ（福岡市早良区西新2-16-23）  
<http://nishijinplaza.kyushu-u.ac.jp/access.html>

内容：

13:30 開会  
趣旨説明 稲賀 繁美（国際日本文化研究センター 教授）

13:45  
講演1  
オランダ人と平戸との出会い  
- ハーグ国立文書館所蔵平戸オランダ商館文書調査研究・活用 -  
フレデリック・クレインス（国際日本文化研究センター 准教授）

講演2  
海を渡った切支丹禁教文書1万点の可能性  
- パチカン図書館所蔵マリオ・マレガ収集文書調査研究・保存・活用 -  
大友 一雄（国文学研究資料館 教授）

講演3  
シーボルト・コレクションの長崎くんち衣裳  
- ヨーロッパにおける19世紀日本関連在外資料調査研究・活用 -  
澤田 和人（国立歴史民俗博物館 准教授）

講演4  
ニッケイ社会で生み出された資料から見た日本の言語文化  
- 北米における日本関連在外資料調査研究・活用 -  
朝日 祥之（国立国語研究所 准教授）

15:20  
パネルディスカッション  
パネリスト：  
岩崎 義則（九州大学 准教授）  
佐藤 晃洋（大分県文化課 課長）  
佐野 真由子（長崎県立大学 教授）  
河野 まゆ子（JTB総合研究所 主任研究員）  
稲賀 繁美（国際日本文化研究センター 教授）

16:30 閉会

定員：200名

参加費：無料です。

申込期限：定員になり次第、申込締切。

申込方法：以下のWEBサイトからお申込みください。  
<http://nihu2017.info/form/>

お問合せ先：  
「海の向こうの日本文化」事務局  
TEL：092-722-0051  
E-mail：mail@nihu2017.info

九州大学 学術研究・産学官連携本部  
 Grantサポートグループ 米満  
092-802-2162  
yonemitsu@airimaq.kyushu-u.ac.jp

・第30回人文機構シンポジウム：

[https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail\\_19683\\_file.pdf](https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail_19683_file.pdf)

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

-----  
【6】日本学術会議・九州大学 公開シンポジウム  
「農的エネルギーの新展開」開催のご案内！  
日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会  
九州大学エネルギー研究教育機構  
-----

概要：

古来より、「農（農山村、農林業、農林業者）」は再生可能エネルギー生産と物質循環の要をなしてきた。しかし、産業社会が分断的視点から効率性を追及するあまり、総体としてのエネルギー利用の非効率性は増大し、地球規模での温暖化と環境劣化という深刻な課題を招くに至っている。

そこで、本シンポジウムでは、2100年の未来社会における健全なエネルギーシステムのあるべき姿を共有し、特に、自立・分散型エネルギーシステムの構築において、「農」が担い取る新たな役割について議論する。

-----  
日時：平成29年6月5日（月）13：30～17：30

場所：九州大学伊都キャンパス 椎木講堂 コンサートホール  
（福岡市西区元岡744）  
<http://shiiki-hall.kyushu-u.ac.jp/access/>

内容：

<13：30> 開会挨拶

大政 謙次

（日本学術会議第二部副部長・東京大学名誉教授・愛媛大学客員教授 他）

<13：35> 趣旨説明

北野 雅治

（日本学術会議連携会員・九州大学大学院農学研究院教授）

<13：40>

「九州大学エネルギー研究教育機構のビジョン」

若山 正人（九州大学理事・副学長）

<13：50>

「未来社会のエネルギーシステムのあるべき姿」

佐々木 一成（九州大学副学長・大学院工学研究院主幹教授・

水素エネルギー国際研究センター長 他）

<14：30>

「農による窒素循環と再生エネルギー供給」

矢部 光保（九州大学大学院農学研究院教授）

<15：10>

「農村バイオマスの地域循環利用」

石井 一英（北海道大学大学院工学研究院准教授）

<15：35>

「心を揺さぶる技術科学による都市型バイオマス生産と利活用」

大門 裕之（豊橋技術科学大学教授・国際交流センター長）

< 16 : 00 >

「農工・産学・国際連携によるバイオマス利用エネルギー循環システムの開発」  
白鳥 祐介（九州大学大学院工学研究院准教授）

< 16 : 25 >

「京都大学新農場における“グリーンエネルギーファーム”モデル」  
北島 宣（京都大学大学院農学研究科教授・附属農場主事）

< 16 : 50 > 総合討論

北野 雅治（進行）  
（日本学術会議連携会員・九州大学大学院農学研究科教授）

< 17 : 25 > 閉会挨拶

真木 太一  
（日本学術会議連携会員・九州大学名誉教授・高等研究院特別顧問）

参加費：無料です。

お問合せ先：

北野 雅治

T E L : 0 9 2 - 6 4 2 - 2 9 2 3

E - M a i l : kitano@hpes.kyushu-u.ac.jp

・農的エネルギーの新展開チラシ：

[https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail\\_19684\\_file.pdf](https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/files/MagazineDetail_19684_file.pdf)

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

-----  
【7】第112回分析基礎セミナー

「原理から学ぶ機器分析【4】分光分析」開催のご案内！【New!!】

九州大学中央分析センター  
-----

概要：

九州大学中央分析センターでは、平成19年より毎年定期的（年8回程度）に分析基礎セミナーを開催しています。

これは機器分析の原理・基礎知識を習得してより効果的に分析機器を使用していただくことを目的とするものです。

今年度のセミナーは、基本に立ち返り、原理をよく理解してより良いデータを取得し、正しい解釈ができることを目指します。今回は、構造解析に必須な分光分析について基礎から実用まで幅広く知識が得られる内容です。

-----  
日時：平成29年6月8日（木）13：00～17：00

場所：九州大学伊都キャンパス・工学部第4講義室（西講義棟3F）  
（福岡市西区元岡744）

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

九大伊都キャンパスマップ中、30番の建物になります。

内容：

< 13:00-14:00 > 「紫外可視分光法の基礎」

分光法（Spectroscopy）の原理から分光光度計の構造についての説明と測定を行う上でのセルの選択から測定条件の検討、アプリケーションに

ついてわかりやすく解説します。

< 14:00-14:50 > 「蛍光分光測定的基础」

分光光度計と蛍光光度計の差異を比較することにより、蛍光測定に関する理解を深めます。また、測定テクニックや各種測定事例（環境サンプルの測定や多変量解析による産地判別など）をご紹介します。

< 15:00-16:00 > 「赤外分光法の基礎と応用」

赤外分光法は、分子構造を解析する手法として広く利用されています。赤外分光法とFTIRの基本的な原理や測定に関する留意点を解説し正しい装置の使い方を理解頂くことを目的とします。また最新の応用例についても合わせて解説します。

< 16:00-17:00 > 「顕微ラマンの基礎と測定テクニック」

ラマンおよび顕微ラマン分析装置にて好評の当社ユーザトレーニングマニュアルをベースに基本原理・特長やノウハウを交え解説します。また、多様なサンプルに対して分析目的に応じた最適なアクセサリを紹介いたします。

対象者：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料です。

申込方法・申込期限：

当日までにメールまたはファックスで  
ご氏名・ご所属を明記の上お申込みください。

お問合せ先：

九州大学 中央分析センター伊都分室・渡辺  
TEL : 092-802-2857 FAX : 092-802-2858  
E-mail : watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

-----  
【 8 】公開講座

「高校生のための工業設計学科のデザイン講座（基礎編）」

開催のご案内！

九州大学芸術工学部

-----  
概要：

高校生を対象に工業設計学科の教育・研究内容を知ってもらえるよう  
「高校生のための工業設計学科のデザイン講座（基礎編）」を開催します。

工業設計学科の人間工学・インダストリアルデザイン・知的機能工学各分野の  
「紹介」（約30分×3分野）、工業設計学科の施設や設備を知っていただくために  
施設見学（約80分）を行います。その他、学科紹介や質問の時間も設けます。

みなさまのご参加をお待ちいたしております。

-----  
日時：平成29年6月11日（土）全1回 13:00～17:00

場所：九州大学大橋キャンパス 5号館 1階 512 講義室  
（福岡市南区塩原4-9-1）  
キャンパスマップのURL  
<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/watch/campus>  
九大大橋キャンパスマップ中、09番の建物です。

講師：九州大学芸術工学研究院准教授・藤 智亮 他

対象者：高校生

定員：20名（先着順）

参加費：無料です。

申込期限：平成29年6月1日（木）

申込方法：

電子メール、FAX、ハガキにて受け付けます。  
下記の情報をご記入のうえ、お申し込みください。

- (1) 受講希望講座名
- (2) お名前とフリガナ
- (3) ご住所・郵便番号
- (4) 電話番号
- (5) 年齢・性別
- (6) 高校名（学年）
- (7) 芸術工学部（府・研究院）からの諸案内や資料送付について（必要・不要）

（7）を記入されていない場合は、  
「必要」とさせていただきます。

・電子メールの場合

gkgnyushi@jimu.kyushu-u.ac.jp

件名に「公開講座希望」とご記入ください。

・FAXの場合

092-553-4597

・ハガキの場合

〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1

九州大学芸術工学部学務課 宛

お問合せ先：九州大学芸術工学部学務課入学試験係 山本

TEL：092-553-4587

FAX：092-553-4597

E-mail：gkgnyushi@jimu.kyushu-u.ac.jp

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

-----  
【9】平成28年熊本地震で被災され、研究に支障をきたしている  
学外の研究者の皆様へ  
九州大学工学研究院  
-----

概要：

九州大学工学研究院では、現在、超顕微解析センター及び工学研究院保有の分析  
・解析機器について、被災地の研究機関・研究者への優先的利用の供与及び使用料  
免除等にてご利用いただけるよう検討いたしております。

詳しくは、次のページをご覧ください。

・<http://bunseki.kyushu-u.ac.jp/bunseki/20160516.html>

・ <http://sangaku-center.city.fukuoka.lg.jp/>

その他にも、九州大学におきましては、非常食や支援物資の提供のほか、災害派遣医療チームの派遣を行うなど、様々な形で平成28年熊本地震へ対応しているところです。

皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【平成28年熊本地震への対応等】

- ・ <http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/approach/kumamotoquake/>
- ・ [http://www.kyushu-u.ac.jp/f/27579/shien\\_torikummi\\_160425.pdf](http://www.kyushu-u.ac.jp/f/27579/shien_torikummi_160425.pdf)
- ・ <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/app/modules/information/detail.php?storyid=1184&categoryid=1>

お問合せ先  
九州大学ナノテクP F事務局  
E-mail : [nano\\_hvem@hvem.kyushu-u.ac.jp](mailto:nano_hvem@hvem.kyushu-u.ac.jp)

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

-----  
【10】「糸島リサーチパーク 分譲」のご案内！  
福岡県企業局

-----  
概要：

福岡県企業局では、糸島リサーチパークの分譲を行っています。

糸島リサーチパークは、西九州自動車道前原インターチェンジに隣接し、交通アクセスに優れ、また、糸島市内周辺地域は、九州大学を中心に、高水準の教育と技術力を身につけ、働く意欲に満ちた優秀な若い人材が豊富で、研究機関等の立地に最適な用地です。

リサーチパーク内には、既に、水素エネルギー製品研究試験センター、三次元半導体研究センター、社会システム実証センターの3施設が立地し、今後も研究機関等の立地が見込まれています。

福岡県への進出を御検討の企業におかれましては、ぜひ糸島リサーチパークへの立地を御検討いただきますようお願いいたします。

-----  
糸島リサーチパークの概要  
所在地：糸島市東  
分譲面積：52,856㎡  
分譲単価：25,000円/㎡  
詳細（リンク）：<http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp/estates/90>

その他の工業団地（磯光工業団地：宮若市）  
詳細（リンク）：<http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp/estates/16>  
\* 販売区画については変わっていることがありますので、お問い合わせください。

問い合わせ先  
福岡県企業局管理課企画開発係 担当者 白鳥（しらとり）・中山（なかやま）  
TEL：092-643-3786  
FAX：092-643-3789  
E-mail：[kigyokyoku@pref.fukuoka.lg.jp](mailto:kigyokyoku@pref.fukuoka.lg.jp)

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【11】糸島市子育て世代応援サイト“いとネット”について  
糸島市役所企画部地域振興課

概要：

糸島市では、子育て世代の生活を応援し、市への定住を促進するため、糸島市・福岡都市圏の子育て世代と、子育て世代応援の趣旨に賛同する協賛企業をつなぐ会員制ポータルサイト“いとネット”を開設しております。

いとネットに会員登録し、協賛店で会員証を提示すると、会員向けの特別サービスを受けることができます。

さらに、いとネットでは、協賛企業からの会員向けのお得な情報に加え、市から子育てや教育環境などに関する生活密着情報もお届けします。

皆様のご登録をお待ちしております。

会員対象者：福岡都市圏の18歳から40歳の方または18歳以下の子どもを育てている方

登録方法：パソコン、スマートフォンよりサイトにアクセスし、入力画面に情報を入力してください。

サイトURL <http://itonet.jp>

登録後は、会員証の画像データをダウンロードし、スマートフォン等の端末へ保存して、協賛店をご利用ください。

登録料：無料

問い合わせ先：

糸島市 企画部 地域振興課 定住・学研都市係  
TEL：092-332-2062

\* \* \* \* \* 事務局からのお願い & お知らせ \* \* \* \* \*

九大学研都市メールマガジン会員募集中  
公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）では、メールマガジン会員を随時募集しております。  
ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報をメールマガジンにて毎月お届けしています。  
産学連携、研究施設、立地情報など九大学研都市に関する情報に関心のある方には是非お知らせください。

【詳細】

[http://www.opack.jp/files/TopicDetail\\_45\\_file.pdf](http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf)

新規の御登録はこちらから

<https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/users/add/>

設定変更等

本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信

させていただきます。  
メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ等は  
下記のURLをご参照ください。

<https://virtua3.coara.or.jp/ro12000/homepage/users/>

または、[info@opack.jp](mailto:info@opack.jp)までお問い合わせください。

\* \* \* \* \*